



# 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 18 年 7 月 28 日

上場会社名 ソマール株式会社

(コード番号：8152 東証第 2 部)

(URL http://www.somar.co.jp)

代表者 代表取締役社長 都田 康弘

(TEL：(03) 3542-2152)

問合せ先責任者 経理部長 渡部 泰栄

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容)  
 ・法人税等の計上基準……簡便な方法により計算しております。
- ②最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

## 2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 6 月 30 日）

(1)経営成績の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期 第 1 四半期	9,348	2.0	279	△24.7	273	△26.8	160	△55.4
18 年 3 月期 第 1 四半期	9,161	3.6	370	172.5	373	167.1	360	150.7
(参考) 18 年 3 月期	37,892		1,413		1,417		1,174	

	1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期 第 1 四半期	8.24	—
18 年 3 月期 第 1 四半期	18.44	—
(参考) 18 年 3 月期	60.18	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

### [経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期のわが国経済は、依然として堅調な需要による企業収益の改善を背景に設備投資が積極的に行われており、景気の回復基調はより鮮明になってきています。しかしその一方では、慢性化傾向にある原油などの原材料価格の高騰により企業の収益環境は厳しさを増してきています。

このような情勢下、当社は高付加価値製品へ経営資源を投入し強靱な収益基盤を確立するため、ビジネス拡大とその強化として、電子部品業界向けの積極的な販売活動や、より高付加価値なコーティング製品の生産・販売に向けた生産設備を増強したことにより、売上高は 93 億 4 千 8 百万円(前年同期比 2.0%増)の増収となりました。しかし、利益面では、一層の生産性の向上、コスト削減等の諸施策を鋭意実施に努めましたが、一部の製品で需要減少の煽りを受けたことによる販売数量及び価格の下落に伴う利益の減少や、税務上の繰越欠損金解消に伴う法人税等負担の増加により、営業利益は 2 億 7 千 9 百万円(前年同期比 24.7%減)、経常利益は 2 億 7 千 3 百万円(前年同期比 26.8%減)、当第 1 四半期純利益は 1 億 6 千万円(前年同期比 55.4%減)の減益となりました。

次に、営業の状況についてご説明申し上げます。

### [仕入販売]

**製紙用化学品** 塗工用バインダーは、製紙業界の市況が塗工紙を中心に堅調に推移したことにより、増収となりましたが、石化モノマーについては、メーカーからの供給が需要を吸収するに至らず減収となりました。その結果、全体では売上高は前年同期比 1.4%増の 22 億 6 千 2 百万円となりました。

**電子材料** フレキシブルプリント基板材料は、その基板ベース材であるポリイミドフィルムの供給が安定化し、海外携帯電話やハードディスク向けが好調でありました。また、プラズマテレビや液晶テレビ用回路材は、海外向けが落ち込んだものの、国内向けが堅調に推移し、増収となりました。リジッド基板材料も、海外携帯電話、基地局関連が引き続き堅調に推移し、全体では売上高は前期比 14.5%増の 28 億 7 千 9 百万円となりました。

**機能性樹脂** 熱硬化性樹脂は、特に自動車、薄型テレビ等リジッドエポキシ基板関連が引き続き好調を保ち増収となりました。熱可塑性樹脂も、家電向けエンブラ材料の新規採用が寄与したことにより増収となり、全体では売上高は前期比 11.5%増の 15 億 4 千 7 百万円となりました。

その他 食品材料は、増粘安定剤の原料の価格高騰を背景に、市場価格が高値安定したことで、ユーザーが在庫調整期に入ったため大幅な減収となりました。印刷製版材料は前年並みを推移し、全体では売上高は前期比 27.6%減の 3 億 8 千 5 百万円となりました。

[製造販売]

コーティング製品 高機能フィルムは、電子部品業界向けで特に台湾、中国の需要が急増したことに加え、国内外での新規市場開発により大幅な増収となりました。  
画像用フィルムは、国内では公共事業削減等による影響もあり若干の減収となり、また、海外でも価格下落の煽りを受け減収となりました。  
この結果、コーティング製品全体では売上高は前期比 3.0%増の 8 億 6 百万円となりました。

高機能樹脂製品 電気絶縁用樹脂は、引き続き自動車電装部品の堅調な需要や原料高騰による価格転嫁も浸透し増収となりました。また、液晶関連ビジネスについては、海外市況の価格下落の煽りを受け減収となりました。全体では売上高は前期比 2.6%減の 9 億 4 千 4 百万円となりました。

ファインケミカルズ 既存品がほぼ前年並みで推移するなか、前期より進めてきた新規開発製品の販売が寄与したことにより増収となり、全体では売上高は前期比 23.4%増の 3 億 5 千 9 百万円となりました。

その他 電子部品業界向けフレキシブルプリント基板材料は、当期初より海外エンドユーザーの需要減少が顕著となり、これに伴う在庫調整が影響して大幅に減収となりました。売上高は前期比 63.8%減の 1 億 6 千 3 百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期 第1四半期	28,095	16,612	59.1	851.81
18年3月期 第1四半期	25,094	15,060	60.1	771.34
(参考) 18年3月期	28,775	16,673	57.9	854.82

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期 第1四半期	△ 100	△ 377	△ 100	1,088
18年3月期 第1四半期	△ 185	△ 74	△ 101	1,323
(参考) 18年3月期	1,031	△1,338	291	1,668

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における現金及び現金同等物は前期末に比べて5億7千9百万円減少し、10億8千8百万円となりました。なお、各項目の増減は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億円の資金の減少となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益が2億6千8百万円となり、減価償却費を1億1千6百万円計上したものの、たな卸資産が4億2千2百万円増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億7千7百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得に1億7千1百万円、無形固定資産の取得に1億3千5百万円を支出したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億円の資金の減少となりました。その主な要因は、配当金の支払額8千6百万円であります。

3. 平成19年3月期の業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	<small>百万円</small>	<small>百万円</small>	<small>百万円</small>
中間期	19,000	550	400
通期	39,000	1,300	1,000

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 51円27銭

[業績予想に関する定性的情報等]

上記予想は、概ね計画通りに推移しており、平成18年5月12日発表の業績予想を変更していません。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

[添付資料]

・四半期財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別 平成19年3月期 第1四半期末	前年同四半期 平成18年3月期 第1四半期末	増減		(参考) 平成18年3月期
			金額	増減率	金額
(資産の部)				%	
流動資産					
現金及び預金	1,088	1,323	△ 234		1,668
受取手形	523	556	△ 32		655
売掛金	12,035	11,809	226		12,326
たな卸資産	3,065	2,270	794		2,642
繰延税金資産	125	190	△ 64		125
その他	165	156	9		121
貸倒引当金	△ 22	△ 38	16		△ 24
流動資産合計	16,982	16,266	715	4.4	17,515
固定資産					
有形固定資産					
建物	2,066	1,905	161		2,080
機械及び装置	1,004	935	69		1,007
土地	240	406	△ 166		240
その他	309	271	38		306
有形固定資産合計	3,621	3,518	102	2.9	3,634
無形固定資産					
ソフトウェア	24	28	△ 4		20
ソフトウェア仮勘定	199	—	199		199
その他	4	5	△ 0		5
無形固定資産合計	228	33	194	573.6	225
投資その他の資産					
投資有価証券	5,640	3,702	1,938		5,778
差入保証金	1,538	1,486	51		1,537
その他	154	175	△ 20		156
貸倒引当金	△ 71	△ 89	18		△ 72
投資その他の資産合計	7,262	5,275	1,987	37.7	7,399
固定資産合計	11,112	8,827	2,284	25.9	11,259
資産合計	28,095	25,094	3,000	12.0	28,775

(単位：百万円)

科目	期別	当四半期 平成19年3月期 第1四半期末	前年同四半期 平成18年3月期 第1四半期末	増減		(参考) 平成18年3月期
		金額	金額	金額	増減率	金額
	(負債の部)				%	
	流動負債					
	支払手形	645	646	△ 0		684
	買掛金	6,316	5,814	501		6,556
	一年以内返済予定長期借入金	175	750	△ 575		387
	未払金	475	523	△ 48		567
	未払法人税等	117	14	102		40
	賞与引当金	95	79	15		190
	設備関係支払手形	29	31	△ 2		133
	その他	71	53	17		12
	流動負債合計	7,925	7,914	11	0.1	8,572
	固定負債					
	長期借入金	1,800	725	1,075		1,600
	退職給付引当金	649	691	△ 42		679
	役員退職慰労引当金	63	110	△ 46		124
	繰延税金負債	1,035	583	451		1,115
	その他	9	9	0		9
	固定負債合計	3,557	2,120	1,437	67.8	3,528
	負債合計	11,482	10,034	1,448	14.4	12,101

(単位：百万円)

科 目	期 別	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	増 減		(参考)
		平成 19 年 3 月 期 第 1 四 半 期 末	平成 18 年 3 月 期 第 1 四 半 期 末	金 額	増 減 率	平成 18 年 3 月 期
		金 額	金 額	金 額	%	金 額
( 純 資 産 の 部 )						
株 主 資 本						
資 本 金		5,115	—	—	—	—
資 本 剰 余 金						
資 本 準 備 金		4,886	—	—	—	—
利 益 剰 余 金						
1. 利 益 準 備 金		419	—	—	—	—
2. そ の 他 利 益 剰 余 金						
(1) 別 途 積 立 金		2,100	—	—	—	—
(2) 繰 越 利 益 剰 余 金		2,359	—	—	—	—
利 益 剰 余 金 合 計		4,879	—	—	—	—
自 己 株 式		△ 28	—	—	—	—
株 主 資 本 合 計		14,852	—	—	—	—
評 価 ・ 換 算 差 額 等						
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		1,759	—	—	—	—
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益		1	—	—	—	—
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		1,760	—	—	—	—
純 資 産 合 計		16,612	—	—	—	—
負 債 ・ 純 資 産 合 計		28,095	—	—	—	—
( 資 本 の 部 )						
資 本 金		—	5,115	—	—	5,115
資 本 剰 余 金						
資 本 準 備 金		—	4,886	—	—	4,886
利 益 剰 余 金						
1. 利 益 準 備 金		—	419	—	—	419
2. 任 意 積 立 金						
(1) 別 途 積 立 金		—	2,100	—	—	2,100
3. 四 半 期 (当 期) 未 処 分 利 益		—	1,579	—	—	2,296
利 益 剰 余 金 合 計		—	4,099	—	—	4,816
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		—	974	—	—	1,882
自 己 株 式		—	△ 14	—	—	△ 26
資 本 合 計		—	15,060	—	—	16,673
負 債 ・ 資 本 合 計		—	25,094	—	—	28,775

## (2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	増 減		(参考)
		平成 19 年 3 月 期 第 1 四 半 期	平成 18 年 3 月 期 第 1 四 半 期	金 額	増 減 率	平成 18 年 3 月 期 金 額
		金 額	金 額	金 額	%	金 額
売 上 高		9,348	9,161	186	2.0	37,892
売 上 原 価		8,286	8,026	259	3.2	33,362
売 上 総 利 益		1,062	1,135	△ 73	△ 6.4	4,530
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		783	764	18	2.4	3,116
営 業 利 益		279	370	△ 91	△ 24.7	1,413
営 業 外 収 益						
受 取 利 息		0	0	△ 0		0
受 取 配 当 金		12	12	0		19
そ の 他		1	5	△ 4		47
計		14	17	△ 3	△ 20.5	68
営 業 外 費 用						
支 払 利 息		7	6	1		31
売 上 債 権 売 却 損		4	5	△ 0		18
そ の 他		6	2	4		14
計		19	14	5	35.0	64
経 常 利 益		273	373	△ 100	△ 26.8	1,417
特 別 利 益						
貸 倒 引 当 金 戻 入 額		3	9	△ 5		25
そ の 他		—	—	—		0
計		3	9	△ 5	△ 62.2	26
特 別 損 失						
固 定 資 産 売 却 損		—	—	—		12
固 定 資 産 除 却 損		8	16	△ 7		70
減 損 損 失		—	—	—		173
そ の 他		—	0	△ 0		0
計		8	16	△ 8	△ 49.9	255
税 引 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益		268	366	△ 97	△ 26.6	1,118
法 人 税 等		108	6	102	1,700.0	13
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益		160	360	△ 199	△ 55.4	1,174

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	( 参 考 )
	平成 19 年 3 月 期 第 1 四 半 期	平成 18 年 3 月 期 第 1 四 半 期	平成 18 年 3 月 期
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益	268	366	1,188
減価償却費	116	113	489
減損損失	—	—	173
貸倒引当金の減少額	△ 3	△ 8	△ 25
退職給付引当金の減少額	△ 30	△ 4	△ 15
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	△ 60	1	15
受取利息及び受取配当金	△ 12	△ 12	△ 20
支払利息	7	6	31
固定資産売却益	—	—	△ 0
固定資産売却損	—	—	12
固定資産除却損	8	16	70
売上債権の増減額(増加:△)	422	△ 609	△ 1,225
たな卸資産の増加額	△ 422	△ 130	△ 502
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 279	96	876
未払消費税等の増減額(減少:△)	△ 0	45	0
その他の	△ 98	△ 50	△ 5
<b>小 計</b>	<b>△ 86</b>	<b>△ 169</b>	<b>1,062</b>
利息及び配当金の受取額	12	12	20
利息の支払額	△ 5	△ 4	△ 29
法人税等の支払額	△ 21	△ 23	△ 22
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 100</b>	<b>△ 185</b>	<b>1,031</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 171	△ 2	△ 606
有形固定資産の売却による収入	—	—	1
有形固定資産の除却による支出	△ 3	△ 16	△ 41
無形固定資産の取得による支出	△ 135	—	△ 73
投資有価証券の取得による支出	△ 10	△ 58	△ 624
投資有価証券の売却による収入	—	0	2
その他の	△ 56	2	2
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 377</b>	<b>△ 74</b>	<b>△ 1,338</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
長期借入金の返済による支出	△ 212	△ 12	△ 550
長期借入れによる収入	200	—	1,050
自己株式取得による支出	△ 1	△ 1	△ 13
配当金の支払額	△ 86	△ 87	△ 194
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 100</b>	<b>△ 101</b>	<b>291</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 0</b>	<b>0</b>	<b>△ 0</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 579</b>	<b>△ 360</b>	<b>△ 15</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>1,668</b>	<b>1,683</b>	<b>1,683</b>
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>1,088</b>	<b>1,323</b>	<b>1,668</b>

・比較品目別売上明細表

(単位：百万円)

品 目		当 四 半 期 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期		前年同四半期 平成 18 年 3 月期 第 1 四半期		(参 考) 平成 18 年 3 月期	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
仕 入 販 売	製紙用化学品	2,262	24.2	2,231	24.4	8,845	23.4
	電子材料	2,879	30.8	2,515	27.5	11,664	30.8
	機能性樹脂	1,547	16.6	1,387	15.1	5,689	15.0
	その他	385	4.1	532	5.8	1,674	4.4
	仕入販売 計	7,075	75.7	6,666	72.8	27,873	73.6
製 造 販 売	コーティング製品	806	8.6	782	8.5	3,231	8.5
	高機能樹脂製品	944	10.1	968	10.6	3,848	10.1
	ファインケミカルズ	359	3.8	291	3.2	1,322	3.5
	その他	163	1.8	452	4.9	1,615	4.3
	製造販売 計	2,272	24.3	2,495	27.2	10,018	26.4
合 計		9,348	100.0	9,161	100.0	37,892	100.0